

サンプル演題

〇〇□□¹⁾、××〇〇¹⁾、△△××²⁾

- 1) 〇〇センター病院 リハビリテーション科
- 2) △△大学保健医療学部理学療法学科



これから本学会で実施する動画ファイルを用いた発表のための、パワーポイントを用いたMP4ファイル作成の手順を紹介します。これはあくまでも1つの方法に過ぎませんので、同等のファイルが作成できるのであれば別のソフトなどをご利用いただいてもかまいません。

はじめに

第7回日本予防理学療法学会学術大会
第3回栄養・嚥下理学療法部門研究会
第3回産業理学療法部門研究会
(第55回日本理学療法学会学術大会)

9月26日・27日に開催予定であった本大会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、会場型プログラムの開催を断念することに。



Web学会にて開催することになった

令和2年9月27日(日) (事前閲覧期間：令和2年9月20～)



本大会は9月26日・27日に開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、会場型プログラムの開催を断念することになりました。しかしながらすでに200演題以上の演題申し込みを受けていたこと、収束の兆しがない中で延期開催も危ぶまれていたため、私たちは今回同日を中心とした日程で、Web上に模擬学会会場を構築し、Web型学会を開催することとなりました。

はじめに

これまで本格的なWeb学会は開催の経験がない

→ システムの問題点の洗い出し
発表方法の検討
安全にアップデート・掲載できる投稿方法の検討

最終的にパワーポイントの発表
をMP4動画ファイルにまとめること
になった。



しかしながら、これまで日本理学療法士協会では演題発表、質問を通じたコミュニケーションも担保したWeb学会の企画・開催はない。他の団体においても公演のビデオ配信、抄録の公開、発表スライドファイルの公開といった水準のWeb学会が開催されたとはいえない。そのため我々は多くの助言者からのアドバイスをいただきながら、学会開催方法について検討を重ねてきた。いくつかの問題のうち、一般演題での発表に用いられるスライド原稿をいかに安全に、かつ簡便に扱えるかについての調査に時間をかけた。その結果、最終的にパワーポイントのファイルをMP4ファイルに変換し、各演題ごとのページに掲載することとした。

Research Question

パワーポイントを動画に編集した経験があるかたはほとんどいないのでは？



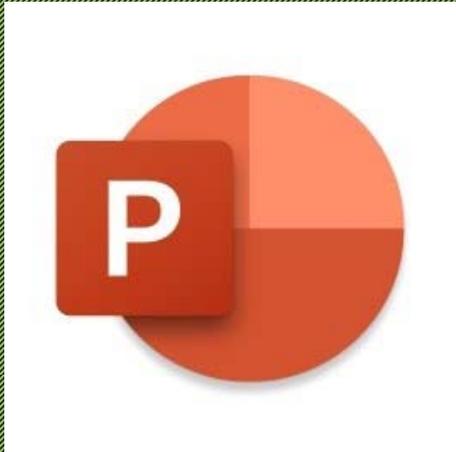
目的

パワーポイントで動画を作るのは大変簡単なので、その方法を紹介し、学会での効果的なプレゼンテーションの支援をすること。



一方で、一般においてパワーポイントの発表原稿をMP4動画ファイルに保存することはないため、その方法やそのサンプルを提供する必要があった。そのため今回われわれはパワーポイントで動画を作るのは大変簡単なので、その方法を紹介し、学会での効果的なプレゼンテーションの支援をすることを目的に、本スライドでMP4動画の作成方法について解説することとした。

方法(デバイス)



PowerPoint
Microsoft Corporation

今回は2019バージョンを使用

Microsoft PowerPoint2010以降のバージョンは「ビデオを作成」オプションを提供されています。



方法です。今回はマイクロソフト パワーポイント2019を用いました。
PowerPoint2010以降のバージョンは「ビデオを作成」オプションを提供しています。もしお手元のパワーポイントのバージョンが古い場合は、スライド作成後にMP4が作成できる新しいバージョンのパワーポイントを用意してください。

方法(スライドの作成)

アウトラインの設定

一般的なIMRD(Intro, Methods, Results, Discussion)に沿ってスライドを作成

読み原稿に沿って7分で完結するように(7-10枚程度)

画面切り替え・アニメーションの設定

必要に応じて、スライド画面切り替え・アニメーションの設定を行います。

すべてのスライドがオートマックに動くように設定もできますが、あとで行うスライドショーの記録では、必須ではありませんので、1スライド単位で動作が完結すれば良いです。



まず元となるスライドを作成します。研究報告ではIMRDに沿って作成してください。報告や活動報告の場合はその限りではありません。今回はWeb学会と言うこともあり、7分間の発表時間はあくまでも目安で、多少の増多は問題ありませんが冗長になりすぎないようにしましょう。動画作成となると、スライドの画面切り替え、アニメーションが切れ目なく動かなければいけないと思われそうですが、実際はあとで行うスライドショーの記録はマウス操作でタイミングを制御して記録していきますので、画面切り替え・アニメーションの厳格な時間設定は必要ないことが多いです。いろいろ試してみてください。

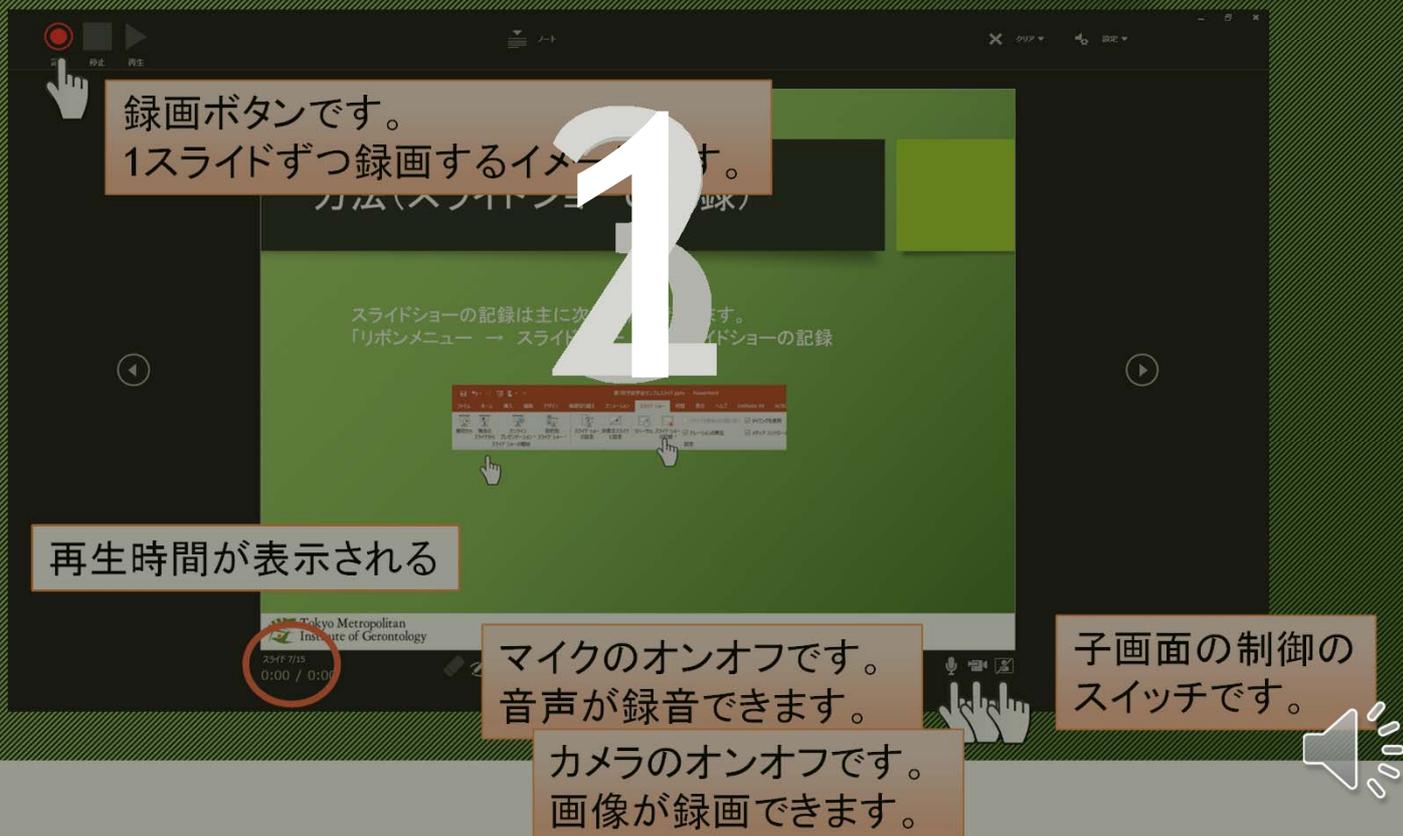
方法(スライドショーの記録)

スライドショーの記録は主に次の手順で行います。
「リボンメニュー → スライドショー → スライドショーの記録」



動画ファイルを作成する前に、どのようなタイミングでスライドを進めていくかの手続きを覚え込ませる必要があります。これは「スライドショーの記録」を使うと音声や発表者の動画なども簡単に記録することができます。メニューからスライドショーを選び、スライドショーの記録へ進んでください。

スライドショーの記録画面



これがスライドショーの記録の画面になります。左上の赤いボタンが記録ボタンです。

[クリック]

記録ボタンを押すと3, 2, 1というキューが出ますので、そのあとマウス等でアニメーションを動かしたりスライドを送ったりして記録してください。画面切り替えが自動に設定されていない場合、1スライド1記録で止めることができ、あとですべてのスライドの動きを結合した動画を作成することができます。右下にはマイク[クリック]、カメラのオンオフのスイッチ[クリック]、カメラがオンになっていたときの子画面のオンオフのスイッチがあります[クリック]。

今回のWeb学会での発表では、この機能を活用し、演者の声や発表する姿も含めた動画を作成することをおすすめします。左下には各スライドの時間と全スライドの合計時間が表示されますので参考にしてください。

動画ファイルの作成



スライドショーの記録が終わりましたらMP4動画ファイルを作成しましょう。まずファイル[クリック]→エクスポート[クリック]と進み、ビデオの作成[クリック]を選んでください。

ビデオの作成



ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、インク ストローク、レーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

[? スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ](#)

	フル HD (1080 p) 最大ファイル サイズおよび完全高画質 (1440 x 1080)
	Ultra HD (4 K) 最大ファイル サイズおよび最高画質 (2880 x 2160)
	フル HD (1080 p) 最大ファイル サイズおよび完全高画質 (1440 x 1080)
	HD (720 p) 中ファイル サイズおよび中程度の品質 (960 x 720)
	標準 (480p) 最小ファイル サイズおよび低画質 (640 x 480)

かならず
HD(720p)
画質を選ん
でください。



ビデオの解像度が選べます。ファイルサイズが大きくなるのでUltraHDは選ばないでください。最後にビデオの作成を押してください。

完成



このようなファイルが作成できれば成功です。完成後ファイルサイズを確認してください。大きすぎる場合は画面の解像度を落としたり、スライド点数を減らしたり記録する説明を短くする等で再生時間を短縮してください。

ご清聴ありがとうございました。

制作 学会準備委員会